

今月の オススメ! これ! March

佐賀県産
さんしょう
からす山椒



ミカン科サンショウ属の落葉樹で赤い実をつけますが、その実はあまり利用価値がなくカラスが食べることでこの名前が付いたともいわれています。

味はあっさりとしてフルーティーな香り。少しスパイシーさも感じられるような?

パンやチーズと合わせてどうぞ!

夏の貴重な蜜源です。是非ご賞味ください!

発行所 株式会社雅蜂園 〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町2-131の1

はちみつ通信

令和3年

3月号

vol. 17

忙しい時の
作り置きに!

LET'S TRY!

やってみよう!

ハニーキャロットラペ

POINT

冬が旬の人参!

はちみつと一緒に緑黄色野菜を
たっぷり食べよう!



はちみつと人参の相性バツグン!
栄養たっぷりの副菜です!

●材料 (小鉢4人分)

- ・人参 中2本
- ・塩…小さじ1
- ・はちみつ…大さじ1
- ・酢…大さじ1
- ・オリーブオイル…大さじ1

調味料は目安です。お好みで変更してください。

●つくりかた

1. 人参を千切りにして塩をふり30分おく。
 2. はちみつ、酢、オリーブオイルをボウルに入れ混ぜる。
 3. 人参の水気をしっかりと絞って、2の調味料とあえる。
 4. 冷蔵庫で少し味をなじませたら完成!
お好みでレーズンや砕いたナッツなどを入れてもOK。
- 冷蔵庫で4日ほど日持ちします。

アレンジレシピ

サラダチキンと
キャロットラペの
サンドイッチ

好きな具材を挟んで、
オリジナルサンドイッチは
いかがでしょうか?



※1才未満の乳児には与えないでください。

数量限定 春の贈り物に♪

桜花びら入り蜂蜜入荷しました!
桜エキスを仕上げた
自然な色味をお楽しみください。

いよいよ採蜜シーズンの
始まりです!

今年どんな蜂蜜を
お届けできるのか?!
お楽しみに♪
新蜜は5月下旬頃より販売予定です。

最新情報は
facebookやLINEにて
お知らせいたします!

行きます!



毎日スプーン1杯の
はちみつ習慣を



風邪などの予防には
日頃の体調管理がかせません。
朝・晩ティースプーン1杯のはちみつで
美味しく健康を維持しませんか。

雅蜂園HP

はちみつ通信
バックナンバー
こちら→



はちみつ屋
掲示板

はちみつ屋

がほうえん
雅蜂園



〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町2-131-1

☎072-233-1138

●営業時間 10:00~18:30

●定休日 第2、第4、第5日曜日



gahouen.com



がほうえん



LINE@



Instagram

はちみつ屋スタッフの

よもやま話

初めてのDIY★

チラシで偶然見つけたホームセンターのイベントでDIY(日曜大工)の体験をしてきました。体験では、材料はカットしてくれていて、お店の人が作り方、工具の使い方を丁寧に教えてくれて、あっという間にラックが完成しました!難しかったのは持ち帰ってからの塗装。塗料は色々な種類があり性質も様々。仕上げのニスも色々な種類があることを初めて知りました。時間がかかりましたが初めての作品が完成した時は嬉しかったです。そして初作品は、お店の陳列棚としてデビューさせてもらいました^_^



完成!

STUFF O



九州の青缶

北海道の青缶



青森の白缶

青森の缶は白地に青森県の地図が緑色で描かれている「白缶」です。



手前が無地缶、奥にあるのが朱缶

産地が分かる!
はちみつの缶

はちみつはお店では瓶やポリ容器に入っている缶に入っていますが、私が養蜂家さんから仕入れて持ち帰る時は一斗缶に入っています。

私はこの缶をひと目見れば、はちみつの産地がだいたい分かります。というのも、各県の養蜂組合などがそれぞれ色や模様が違う独自の缶を作っているからなんです。

北の青缶、和歌山の黄缶、九州から東北、北海道へと大規模に移動する養蜂家さんは、青色に北海道のイラストが描かれている「北海道の青缶」を使います。なので青色の缶に入っているのはちみつの産地は九州、東北、北海道であることが多いです。

ただし、東北の中でも山形の養蜂家さんは朱色の「朱缶」を使います。特産品のサクランボの色です。

はちみつ屋
社長手記ほうろうき
蜂労記

第16回

「一斗缶の話」

私は九州から北海道まで、毎年現地へ行きお天気やまわりの花やミツバチを見ながら移動養蜂家や定置養蜂家と共に蜂蜜を厳選し仕入れています。豊作の時や不作の時もあり、1年間に色々楽しいお話があります。さて、今回のお話は…

古くから養蜂業が盛んな和歌山は「黄缶」を使います。

これも特産品のみかんの色ですね。缶の色だけでなく文字の表記も「はちみつ」「蜂蜜」などいろいろです。

ちよつと特殊な「岐阜缶」。

「岐阜缶」とは、私が勝手に名付けている缶のことなんです。白地に黄色の地模様があり赤で「蜂蜜」と書かれています。そもそも岐阜県は明治時代から養蜂が盛んな地域で、今でも養蜂道具の販売会社やはちみつ問屋がたくさんあります。私も岐阜の養蜂問屋で4年勉強しました。この缶はそうした岐阜の問屋さんで多く販売しているもので、そこで缶を仕入れる岐阜、滋賀、兵庫、長野の養蜂家さんが多く使っています。

最近では色のついていない無地の缶を使う養蜂家さんも増えてきました。ですが、中国産を含め海外産の蜂蜜で多く使われているため、国産で使うのを嫌う養蜂家さんが多いようです。私の場合は仕入れるとすぐにビン詰めして、後は使うことがないのでどんな缶でもOKです。

もちろん、養蜂家さんも缶を2回、3回と使うことはめったにないので、無地缶を使う人も多いのです。価格もやっぱり無地の方が安いということもあるのでしょうね。



和歌山の黄缶

岐阜缶